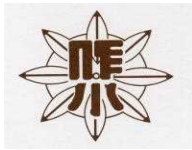


仙台市立作並小学校



校長室だより

第4号

やさしい子
かしこい子
たくましい子

平成30年7月24日

7月20日の夏休み前朝会では、子供たちに3つの話をしました。

一つ目は、4月の始業式から夏休みまでに子供たちが頑張ったことです。1年生の二人は、すっかり小学校生活にも慣れて、毎日元気に学校に通い、勉強に遊びに頑張っていること。6年生は、作並小学校の最上級生として、児童会やクラブ、委員会、縦割り活動など、登下校のお世話を含めて下級生のみんなをしっかりとリードしていること。2～5年生は、下級生を気に掛けながら、6年生のリーダーシップに従おうと仲良く協力していることです。大きな怪我や事故、病気もなく、毎日休まずに学校に通って勉強や遊びに頑張ったことはすばらしいことです。

二つ目は、夏休みの過ごし方についてです。1日の生活計画と33日間の予定を立て、学校があるときと同じように規則正しく生活することです。私から読書の宿題を出しました。3～6年生は伝記を読み、感想を書くことです。1, 2年生は、最低3冊は本を読んで、内容や感想を休み明けに私に話しに来ることです。

三つ目は、私の故郷広島のことです。7月初めに降った雨により、九州から中国、四国、関西にかけて大きな被害になりました。亡くなった多くの方や行方不明の方のご冥福を祈ると同時に、できるだけ早く元の生活を取り戻すことを祈っています。そして、8月6日、9日、15日が何を意味する日であるかを話しました。人に対して始めて使われた一つの特別な爆弾により、多くの方が亡くなったこと、長く続いた戦争が終わったことです。戦争が終わって73年経ちますが、いまだにあの爆弾や戦争のために苦しんでいる人がたくさんいます。夏休み中には、テレビで戦争関連のことが放送されます。忘れてはならない辛い歴史です。もしも家族で見るときがあったら、家族で話題にして考えてほしいこと、一生に一度は実際に広島や長崎に出かけてほしいことなどを話しました。

暑い夏が予想されます。病気や怪我をしないで、事故に遭わないように気を付けて長い夏休みを有意義に過ごしてほしいと話しました。

青少年のためのオーケストラ鑑賞会

7月4日、仙台フィルハーモニー管弦楽団のコンサートに5年生と一緒に出かけました。仙台市内の5年生全員が毎年鑑賞させ



てもらっています。仙山線と地下鉄を乗り継いで日立システムズホールに行きました。大倉小、上愛子小の5年生とも出会い、コンサート後は、台原森林公園で昼食を一緒に食べました。ヴィオラ奏者の方の巧みな話術で、楽団と会場が一体となったすばらしいコンサートでした。プログラムに「希望の道」をオーケストラの演奏で歌う場面がありました。

仙台市内の小学生ならみんな歌える歌で、会場が一つになっていました。私は感動のあまり、声になりませんでした。貴重な体験をさせていただいたことに感謝です。

